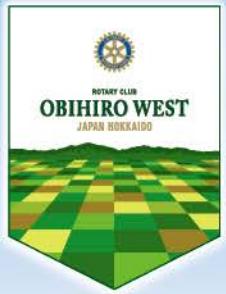




帯広西ロータリークラブ

第2335回例会 2021.3.4

会報



■RI第2500地区テーマ■

ランクアップしましょう

■クラブ・テーマ■

化学反応を起こす出会いの機会を作ろう

■3月誕生日

柴田 和明	会員	1935.3.30
佐々木和彦	会員	1957.3.10
高田 浩司	会員	1960.3.21
谷脇 正人	会員	1966.3.2
藤本 剛	会員	1971.3.7
伊藤 公康	会員	1972.3.16
米田 健史	会員	1986.3.5



■3月結婚祝

奥田 賴昌	会員	1977.3.12
山本 範之	会員	1978.3.27
齊藤 憲生	会員	1982.3.27
小谷 典之	会員	1988.3.27
立崎 貴之	会員	1992.3.21
堂山 啓太	会員	2000.3.11
河西 智子	会員	2010.3.14
藤本 剛	会員	2013.3.15

■米山記念奨学生挨拶

ワンロップ・アッチャラーパン 奨学生



皆さん、こんにちは。私の日本語のスキルはあまり上手ではありません。でも今日はこのスピーチに日本語を使うつもりです。私は帯広畜産大学博士課程2年生のアチャラファン・ワンロップです。最高の日本留学の機会を支援していただき、本当にありがとうございました。

私は2023年に博士課程を修了するため、あと2年

間は日本に滞在します。奨学金は今月で終わりますが、この経験を一生忘れません。まず、森さんと森夫人に感謝を伝えたいです。彼らは最高のカウンセラーであり、大変お世話になりました。次に、帯広西ロータリークラブの会員の皆さん、ありがとうございました。私は最初、日本語が苦手だったので、どの様にコミュニケーションすればいいか戸惑いました。しかし、彼らはいつも私に話しかけ、親切にしてくれました。本当にありがとうございます。

コロナウイルスは依然、猛威を振るっていますが、感染者は大幅に減少しています。私はすべてが早く改善されることを願っています。皆さん、健康に気を付けてください。最後になりますが、ロータリー米山記念財団が素晴らしい経験を下さったことを、決して忘れません。ありがとうございました。

■会長報告

佐々木 和彦 会長

先月の第1例会では『四つのテスト』の成り立ちについてお話しさせていただきましたが、今日は『四つのテスト』について、私なりの思いを述べさせていただきます。



普段私たちの生活の中で、政治的・社会的・個人の考え方の違いで議論が発生することがあり、そこで誰かの考えや発言、行動を批判したりするために、ロータリアンが『四つのテスト』を利用することがあります。意見が対立する双方の会員が、互いに『四つのテスト』を使って自分の主張を裏付けたり、相手をおとしめたりすることもあると思いま



す。ある考え方、意見、行動が『四つのテスト』に背くと判断したら、それは間違っていると言明するのを、ロータリアンの義務だという話も聞いたことがあります。『四つのテスト』を守ることは簡単ではありません。「言行はこれに照らしてから」とあるように、自分がどのような考え方をもっていても、大切なのは、その考え方とともにどう行動するかということになります。例えば、「この人は好きじゃない」という思いがある場合、そこで何を行うべきか。私たちは、そういう思いや、自分を満足させるための、否定的な行動に出たいという欲を、払いのけることができるのです。相手を傷つける発言や行動は、「好意と友情を深める」ことなど絶対に不可能なのです。自分の意見の正当性を主張することに『四つのテスト』を利用すること自体、このテストに背くことだと私は考えます。

私たちは『四つのテスト』を通して他人を見るのではなく、自分自身の考え方、意見、行動を考えるべきです。『四つのテスト』は私たちが、自分自身について判断するための鏡であって、他人を判断するための窓にしてはいけないのでした。

会務報告

小野 辰夫 幹事

- ①帶広西RC、3月25日(木)の例会は休会と致します。
②各RC、3月の例会状況

帶広RC、短縮例会で開催致します。
※3/24(水)、3/31(水)は休会と致します。
帶広北RC、短縮例会で開催致します。
※3/5(金)は休会と致します。
帶広東RC、短縮例会で開催致します。
※3/30(火)は休会と致します。
帶広南RC、短縮例会で致します。
※3/1(月)、3/15(月)は休会と致します。

- ③ロータリー旗を入れ替えました。

委員会報告

ロータリー財団表彰

藤本 剛 ロータリー財団委員長
マルチプルポールハリスフェロー 3回目

太田 一也 会員

〃

2回目

熊切 宏樹 会員

ポールハリスフェロー

小野 辰夫 会員

辻田 茂生 会員

次年度報告

工藤 正宏 次年度幹事

本日7月からの委員会構成を発表させていただきました。次年度よろしくお願いします



ニコニコ献金

長平 圭太 親睦活動委員長

佐々木和彦 会長

久しぶりの顔を合わせての例会です
森房 明 副会長



本日でワンロップ卒業です。お世話を
になりました

小野 辰夫 幹事

久しぶりの集合例会です

川田 章博 会員

会議所で夜のお店支援中です

田中 耕吾 会員

次年度副会長を仰せつかりました

近藤 誠勝 会員

久しぶりの例会にうれしさを感じます

高田 浩司 会員

同友会のゴルフ部会会長になりました

松見 喜明 会員

娘が明治大学に進学します

ニコニコ 献 金	3月4日	20,000 円
	累 計	440,000 円 (3月4日現在)



■プログラム

飯田 正行 米山記念奨学委員長



最近SDGsという言葉をよく耳にする機会が増えました。TVで特集が組まれたり、上着に大きな丸いバッヂをついている人も見かけるようになってきました。SDGs何かなと思っている方も多いともいますので、今日は短い時間で恐縮ですがエッセンスの部分を、芳賀さんに話していただきます。

「SDGsについて」

2030 SDGs カードゲーム公認ファシリテーター 芳賀 雅樹 様



皆様、初めまして
ここにちは。私は、
2030SDGsカードゲー
ムファシリテーターの
芳賀雅樹と申します。
本日は皆様にSDGs
とは何か、またなぜ必要なのかというお話をさせて
頂きます。

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するため掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。それでは17の大きな目標について説明いたします。

まず1～6の目標として、
1)貧困をなくそう
2)飢餓をゼロに
3)すべての人に健康と福祉を
4)質の高い教育をみんなに
5)ジェンダー平等を実現しよう
6)安全な水とトイレを世界中に
があげられています。これらは一見開発途上国に対する支援に見えますが、実際には先進国である日本国内でも多くの点で当てはまるものもあります。次に7～12の目標として

7)エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8)働きがいも経済成長も
9)産業と技術革新の基礎をつくろう
10)人や国の不平等をなくそう
11)住み続けられるまちづくりを
12)作る責任つかう責任
があげられています。これらを見てみると、エネルギーや経済成長、働きがいなどの課題も出てきて、まさに先進国である日本とも密接に関係するものです。さらに13～17の目標として、

13)気候変動に具体的な対策を
14)海の豊かさを守ろう
15)陸の豊かさも守ろう
16)平和と公正をすべての人に
17)パートナーシップで目標を達成しよう
があげられており、これらは開発途上国や先進国だけでなく、より包括的な目標になっています。

SDGsが世界でこれだけの広がりを見せてているのは、開発途上国だけではなく先進国も、働きがいや経済成長までも踏まえたものだからです。一つ一つのゴールに対して平均10個程の細かいターゲットが定められています。

SDGsの背景には経済・環境・社会をどう好循環していくかという事が盛り込まれています。SDGsの前身にMDGsというものがありました。これは、8つの目標、21のターゲット、60の指標が定められ、「極度の貧困をあと一世代でなくせることこれまで来た」「MDGsは歴史上最も成功した貧困撲滅運動になった」とされました。これらは、その取り組み主体が、国や自治体だけではなく民間企業や個人とされ、開発途上国だけではなく先進国である日本や、私達一人ひとりが役割を持って取り組まなくてはならないとされています。

では、私達の身近で取り組まなくてはならないこととはどんなものがあるのでしょうか。例えば、私達にとって身近なチョコレートから考えてみます。チョコレートやアイスクリーム、マーガリン、シャンプーなどの商品を生産するためにはアブラヤシを原料とするパーム油が大量に使われ、日常生活を支えるための優秀な植物油です。しかし、パーム油の生産増加は熱帯雨林の減少と直接関係しています。アブラヤシが育つのは赤道直下の熱帯地方のみであり、そのプランテーション開発には、熱帯雨林を伐採するほかありません。ボルネオではわずか50年

ほどの間にボ40%もの熱帯雨林面積が消失しています。そしてそれは、多くの野生動物から住処や食物を奪い、森を利用して生きる周囲の地域の人々や、森の中に暮らす先住民の人々にも影響を及ぼします。さらにアブラヤシ農園での児童労働や強制労働も問題になっており、充分な教育の機会を奪っています。とりわけ識字率の問題は、必要な情報を手に入れられないことで様々な不利益を被るばかりでなく、自分の意思や要求を書面で伝えられず、社会的な権利が大幅に制約される事に繋がります私達のチョコレートからそこまで世界と繋がっているのです。

私達の周りから世界を変えることができます。例えばフェアトレード認証チョコレートです。フェアトレードとは公正な取引のことです。貧困のない公正な社会をつくるために、途上国の経済的・社会的に弱い立場にある生産者と経済的・社会的に強い立場にある先進国の消費者が対等な立場で行う取引です。適正な賃金の支払いや労働環境の整備などを通じて生産者の生活向上を図ることが第一の目的です。その他にも企業として取り組めるSDGsアクションやSDGsに貢献する寄付ができる機関もありますので、皆様の第一歩は「SDGsについて調べてみる」を行動としてみてください。

今、教育の中でもSDGsの学習が取り入れられ、SDGsを実践している企業がこれから選ばれる時代

になります。近江商人の信条である「三方よし」、すなわち

- ①売り手よし
- ②買い手よし
- ③世間よし

がSDGsのビジネスのあるべき姿をよく言い当てているということはよく言われます。実際、日本の企業の中には顧客を含めた地域社会への貢献ということをもともと創業の趣旨とした会社も多く、こうした企業はいまでも「三方よし」を体現されてきています。人類は近江商人の時代からさらに多くを学びました。商品やサービスを作るためにはおおきな仕組みが必要になってきましたし、自然環境へのビジネスの影響も考えなくてはなりません。さらに将来の世代に何を残すかというところまで、今の人類は考えて行動しなくてはならないのです。

SDGsは企業で取り入れると「六方よし」を体現出来ます。売り手よし、買い手よし、作り手よし、世間よし、地球よし、未来よし。是非、皆様も取り入れていただきたいと思います。SDGsは今の私達だけではなく、子ども、その次の代、またその次の代まで、この地球に住み続ける誰ひとり取り残さないための世界共通の目標です。未来を皆様で守りましょう。